

今日も「ー」あがり♪

第54話

孫の代まで安心して使えるように！ の巻



皆さん、こんにちは！ どん兵衛

より緑のためき派のロブストス高垣でございます。さて、弊社の近況ですが——採用活動に力を入れることにしました！ 僕はメーカーが置かれてしまう状況を持って理解して、手がけた案件が蓄積されていて、経営基盤は安定するもの、そこに時間を取られて、新規案件に着手しづらくなっていくんです。でも、弊社は特注対応に存在意義があるので、量産メーカーと同じ道を辿ることはできません。進むべき道は一つ、「本気で技術者を育成する」しかないですね。「利益はすべて

技術者の育成に投じ、技術者育成のために利益を上げる」と腹を括りました。頼りにしてくれる農家さんが増えていくなかで、その期待に背くわけにいきませんから。周りに弊社に合う方がいれば、ぜひご紹介ください。このコラムを読んで、熱き農業機械関係者からのご連絡もお待ちしております。

シンプル構造を継承し 駆動部を修復して完全復活

ということ、今月は「継承」をテーマにお話ししましょう♪

こんにやく芋の産地として有名な群馬県沼田市の山田繁さん（株山田農産）の相談は、「数十年前に地域の鉄工所が製作してくれたマルチ巻取り機が、いよいよ限界を迎えた。こんにやく芋生産に土壌消毒は欠かせず、マルチ巻取り機は必需品。ほかのメーカー製品もあるけど、鉄工所の巻取り機のほうが作業スピードが



写真1：かつて地域の鉄工所が作ったマルチ巻取り機。シンプルで使い勝手はとも良いらしいが、駆動部品はガタガタでローラチェーンが外れてしまう状態に

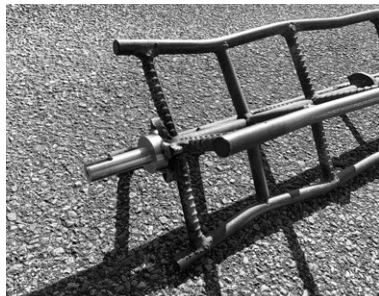


写真2：巻取り部の摩耗し切った両端を修復。芯の出しようのない歪な形状でも、可能な限り芯が出るように工夫した



写真3：溶接でツギハギになり破断していた駆動シャフトも、硬い鋼材に変えて新たに製作した



写真4：完全復活を遂げたマルチ巻取り機。何度でも修復できるような直し方をしたので、この先また何十年と使えるでしょう！

ずつと速いので使い続けた」とのこと。山田農産は地域を代表する大手生産農家なので、少しのスピードの差が大きな違いになるんです。現場を訪ねてみると、うまく考えたなあと思えるシンプルな作業機でした。改良が繰り返されていたのでフレームを切断しないとバラすことができません、駆動部品の損傷も激しかったのですが、シンプルな構造なので、駆動部品を修復すれば問題ナシ！ 巻取り部の軸はウルトラCで修復して、駆動シャフトは新たに設計し直して製作。スプロケットは追



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株ロブストス代表取締役社長。

加工で活かしつつ、伸びきったローラチェーンと破損した軸受を新品に交換して、完全復活——♪
「農業を継いでから、こんなに軽くてキレイな回転を見るのは初めて」と山田さんが感心してくださったので、僕は「お孫さんの代まで使えるように作業しました」と胸を張りました。現場で作業に立ち会いながら頭をよぎったのは、僕らがいなくなったら、いつかまた山田さんは困るとのこと。確実に技術者が減っていく日本で、農家さんが安心して農業経営できるように、ロブストスは次世代に技術を継承しなければなりません。このご時世にアナログの技術者を育成することがどれほど難しいか、農家の皆さんも同じような悩みを抱えていると思います。仕事は違えどお互い辛抱強く取り組んでいきましょう。ということ、今月も一丁あがり——♪